

校舎内を吹き抜ける心地良い風が、柔らかな木々の香りと共に春を運んでくる季節となりました。今日のこの佳き日に、ふたば未来学園高等学校を巣立って行かれる第三期生、一四〇名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

今年度は、校舎の移転が行われたり、中学生との共同生活がスタートしたりと、私たち生徒だけではなく、先生方にとっても新しい日々を送ってきました。昨年度までと同じようにはいかない場面も多く、戸惑いもありました。しかし、そのような中で先輩方は、私たちのことを常に良い方向に導いてくださいました。部活動や委員会活動、学校行事など、先輩方のご活躍は多岐にわたるものでした。新校舎に移転してから初めて開催された公開文化祭では、準備期間から当日にかけて、校内全体の熱が徐々に高まっていくのを肌で感じました。先輩方の団結力や覇気が、私たちにまで伝わってくるようでした。当日は、三島長陵校舎の生徒を含めて生徒や先生方が団結し、多くの地域の方々に楽しさを提供することができ、大成功を取ることができたのは、先輩方のおかげです。

探究活動においては、先輩方の活動の質の高さに圧倒されました。企画力や行動力など、本校での三年間の学びの中で培われてきた力を目の当たりにし、これが私たちが目指すべき姿なのだと思います。東日本大震災から九年の月日が経とうとしていますが、未だに各所では復興に向けた取り組みが行われています。先輩方の活動は、双葉郡の復興において、大きな希望となったと思います。地域の課題を見つけ、その解決策を探究するという活動は、決して一筋縄でいくものではありません。それを今、私たちは痛感しています。私たちも、先輩方に続いて質の高い活動を残すことができるよう、今後も一つ一つの課題に向き合い、双葉郡の未来をより輝かしいものにするために、私たちができることを考え続けていきたいと思っています。

私たちは何度も先輩方に助けられてきました。先輩方の大きな背中には、私たちの誇りであり、目指すべき姿です。本当にありがとうございました。本校にとって大きな存在であった先輩方のご卒業してしまうことに、寂しさという一言では表しきれない程の気持ちで、胸がいっぱいです。先輩方はいかがでしょう。本校で過ごされた三年間の、どの瞬間を切り取っても、きっと、大切な人との素晴らしい思い出ばかりだと思います。ぽっかりと空いた教室を見る度に、先輩方の面影を見つけて、思いを巡らすことになると思うと心細いですが、先輩方が築いてくださった伝統を、次は私たちが引き継いで、本校がより発展できるような新しい導き手になりたいと思います。

ここ日本でオリンピックが開催される、二〇二〇年という記念すべき節目の年に、先輩方がそれぞれの道に進まれることを本当に喜ばしく思います。最後になりますが、先輩方のご健勝と益々のご活躍を、在校生一同心よりお祈り申し上げ、送辞とさせていただきます。

令和二年三月一日
福島県立ふたば未来学園高等学校
在校生代表 大和田 美月